

# 新石垣空港予定地内遺跡詳細分布調査

2004年（平成16）3月

沖縄県立埋蔵文化財センター



## 序

本報告書は平成13～15年度にかけて、文化庁の補助を得て沖縄県立埋蔵文化財センターが実施した新石垣空港予定地内遺跡詳細分布調査の概要をまとめたものであります。本調査は、平成12年度に選定された新石垣空港予定地であるカラ岳陸上案周辺の埋蔵文化財分布状況を把握するために行いました。

新石垣空港建設予定地は、当初は主に白保沿岸海域の埋め立てによる海上案でしたが、サンゴ礁などの自然環境への配慮から海岸を半分埋め立てるカラ岳海上案となり、この範囲にかかる海岸地帯について平成元年～3年度に沖縄県教育委員会が遺跡分布調査を行い平成4年3月に調査報告書を刊行しました。

その後、平成12年度にカラ岳陸上案が確定したことから、この新空港建設予定地において当センターが再度遺跡分布調査を実施したわけであります。

今回の調査により、新空港建設予定地内および周辺の埋蔵文化財の分布状況を明らかにすることができました。現在石垣島ゴルフ場となっている地域の東側緑地においては、今回新たに岩陰を利用した近代の古墓を確認しました。また、従来から知られているアブ遺跡については、その範囲、性格、時期等は不明でしたが、今回の試掘調査により歴史時代の中森期とされる14・15世紀まで遡る集落跡の可能性が想定できました。また、無土器期の貝塚である嘉良嶽東貝塚は以前から周知されており、先の平成4年の調査報告書においてすでにその性格や範囲を明らかにしております。

しかしながら、ゴルフ場内のフェアウェイなどにおいては、現在稼働中であるため十分な調査はできませんでした。この範囲については、実際の空港建設においてあらためて遺跡分布調査を実施する必要があります。

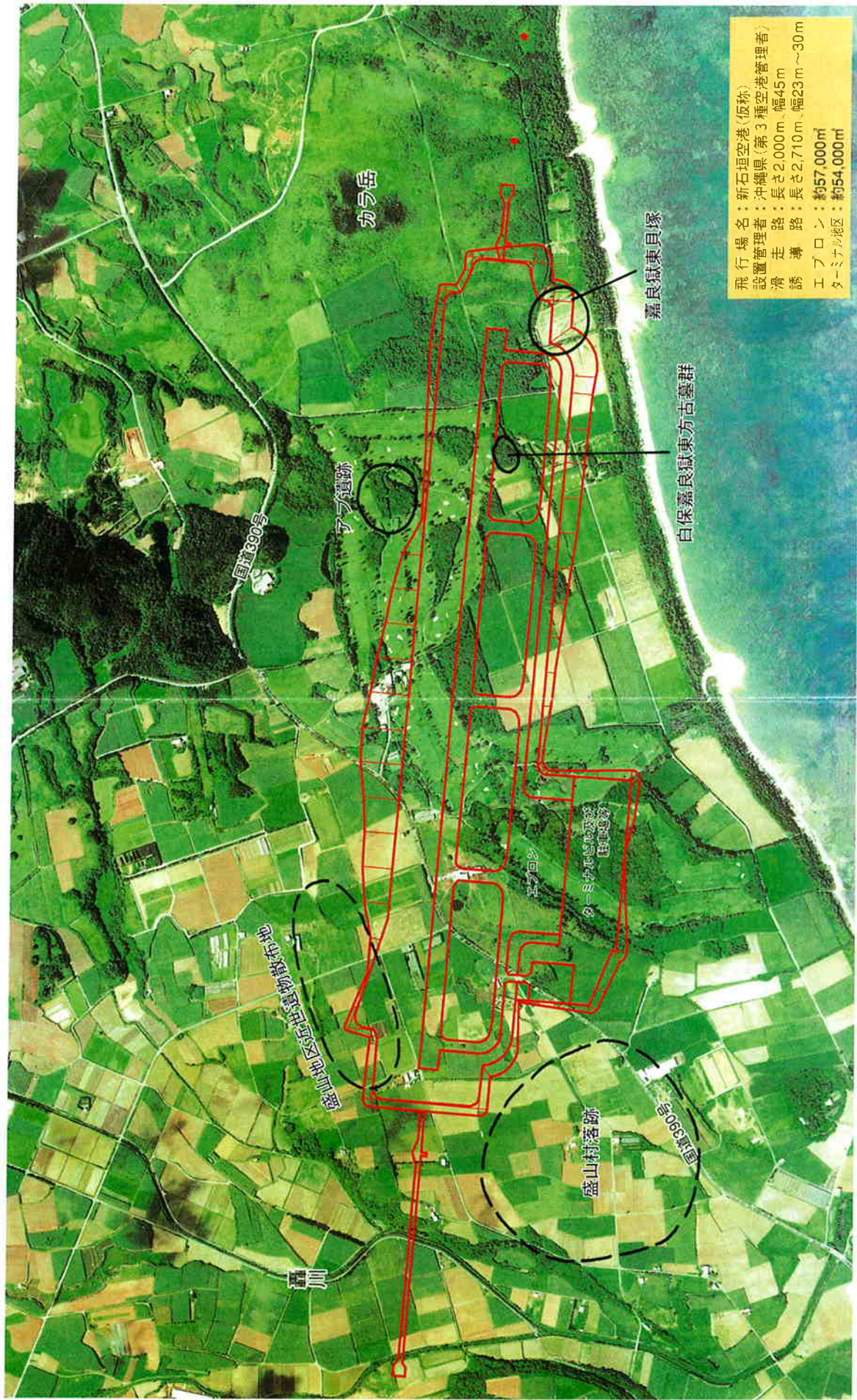
本報告書が、新石垣空港建設事業の実施にあたって、ここに明らかにされた遺跡を円滑に取り扱うための検討資料として有効に活用されるとともに、今後の埋蔵文化財の適切な保存と活用を図るための基礎資料に資することにつながれば幸いです。さらに、研究、教育、生涯学習等の資料として広く多くの方々に活用され、沖縄の歴史と文化への理解と関心が深まることを期待しております。

末尾ながら、調査の実施にあたって適切なお指導・ご助言・ご協力を頂いた県八重山支庁、石垣市教育委員会ほか関係諸機関各位に対し、心から感謝申し上げます。

2004年（平成16）3月

沖縄県立埋蔵文化財センター  
所 長 安里 嗣淳





巻頭図版 1 新石垣空港予定地内遺跡



カラ岳遠景（南から）



白保嘉良獄東方古墓群（写真中央のブッシュ地帯 東から）



白保嘉良獄東方古墓群・墓1（東から）



白保嘉良獄東方古墓群・墓2（東から）



白保嘉良嶽東方古墓群・墓3（東から）

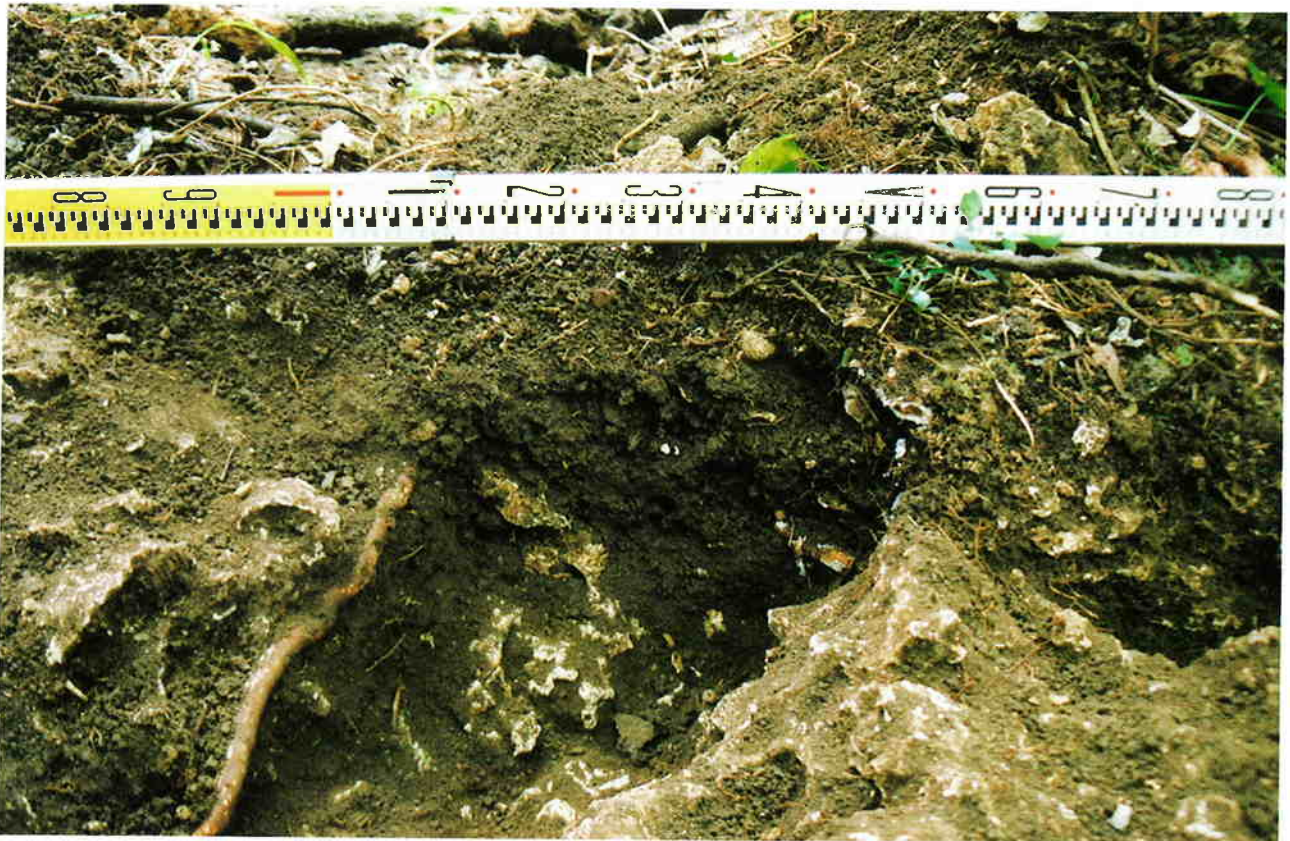


石垣島ゴルフ場16番ホール北側ブッシュ1号塚（南から）





石垣島ゴルフ場9番ホール北側・アブ遺跡遠景（南から）



アブ遺跡内試掘トレンチ26黒褐色土検出状況（西から）